

# 2020 精神医学 試験問題 再現

2020. 12. 25 実施

1. 精神障害の一次予防はどれか、1つ選べ。
  - ① 就労移行支援の推進
  - ② 病院における先進的治療の促進
  - ③ 飲酒の害に関する知識の普及活動
  - ④ 新規抗精神病薬の導入による迅速な症状改善
  - ⑤ 新たな脳機能測定方法を用いた精神状態の把握
  
2. 7歳の女の子。文法や語彙といった言語技能は問題なく有しているが、考えや感情を表出するために適切な言語を使用することができず、社会的な合図をよみとることが困難である。また、人と視線をあわせることがなく、友達を作ることに苦労していた。物の臭いを過度に感じ、季節に関係なく同じシャツを着ることにこだわる。これらの症状は小児期早期からはじまっている。

この児童の症状に最も適切な診断はどれか、1つ選べ。

  - ① 知的能力障害
  - ② 自閉スペクトラム症
  - ③ 言語症（言語障害）
  - ④ 小児期発症流暢症（吃音）
  - ⑤ 社会的（語用論的）コミュニケーション症
  
3. 弁証論的行動療法の適応としてふさわしいのはどれか、1つ選べ。
  - ① 演技性パーソナリティ障害
  - ② 境界性パーソナリティ障害
  - ③ 依存性パーソナリティ障害
  - ④ 強迫性パーソナリティ障害
  - ⑤ 統合失調質パーソナリティ障害
  
4. 精神科の治療として、初めてノーベル賞を受賞した治療法はどれか、1つ選べ。
  - ① マラリア療法
  - ② インスリンショック療法
  - ③ ロボトミー
  - ④ 電気けいれん療法
  - ⑤ 頭蓋磁気刺激療法

5. 性に関連して正しいものはどれか、1つ選べ。
- ① LGBT のなかで、T は多数派である。
  - ② 旧約聖書、新約聖書、コーランは伝統的に同性愛に寛容である。
  - ③ 性的指向は、自分を男と捉えるか、女と捉えるか、の違いのことである。
  - ④ 典型的な性別違和の場合、性についての違和感は思春期以降に現れる。
  - ⑤ LGBT は、同性愛という点で共通する特徴を有する人たちである。
6. 精神症状と疾患名の組み合わせで誤っているものはどれか、1つ選べ。
- ① 観念奔逸 ----- 双極性障害
  - ② 罪業妄想 ----- うつ病（大うつ病性障害）
  - ③ 幻視 ----- レビー小体病に伴う認知症
  - ④ 思考制止 ----- 統合失調症
  - ⑤ 幻視 ----- アルコール離脱せん妄
7. 精神科面接の説明で正しいものはどれか、1つ選べ。
- ① 初診では、問診の項目全てを網羅的に尋ねる必要がある。
  - ② 半構造化面接は、closed question の割合が半分以上設定されたものである。
  - ③ 初診時に家族が共に来院した場合は、患者本人・家族それぞれの意見を聴取すべきである。
  - ④ 患者と家族の間で話が食い違っている場合には、患者の意見を優先すべきである。
  - ⑤ 精神科における面接は、検査としての側面が強い。
8. 「ネット・ゲーム依存」について正しいものはどれか、1つ選べ。
- ① ネット・ゲーム依存は女性に多い。
  - ② ネット・ゲーム依存に対して認知行動療法が有効である。
  - ③ ネット・ゲーム依存に対してはネット・ゲームを断つことが唯一の治療である。
  - ④ 世界保健機関（WHO）の国際疾病分類（ICD-11）にゲーム症（障害）という病名は存在しない。
  - ⑤ ネット・ゲーム依存に他の精神疾患を合併することは極めて稀である。
9. 衝動性を制御する脳領域として知られている部位はどれか、1つ選べ。
- ① 前頭前野眼窩部
  - ② 海馬
  - ③ 扁桃核
  - ④ 側坐核
  - ⑤ 上側頭回

10. 次の精神疾患のうち、遺伝率が高い精神疾患を3つ選べ。

- ① 統合失調症
- ② 双極性障害
- ③ うつ病
- ④ パニック症
- ⑤ 自閉スペクトラム症

11. 22歳の女性。2週間前から「盗聴器がしかけられている」と言って部屋中を探し回り、「自分の考えが人に伝わっている」と言って、電気のブレーカーを落として生活するようになった。3日前からは食事もせず、誰とも話さないようになった。家族は困惑し精神保健福祉センターに相談して精神科を受診した。精神保健指定医の質問に対して、時にうなづくような動作はするものの返答は全くなかった。入院の必要性を説明するが患者の同意は得られなかった。患者は入院することになった。

精神科病棟への入院形態で適切なのはどれか、1つ選べ。

- ① 任意入院
- ② 応急入院
- ③ 医療保護入院
- ④ 措置入院
- ⑤ 緊急措置入院

12. 「産後うつ病（うつ病、周産期発症）」について、正しいものはどれか、2つ選べ。

- ① 抗うつ薬に催奇形性のリスクがあるものはないので、積極的に使うべきである。
- ② うつ病の既往はリスク因子である。
- ③ 子どもの成長・発達には影響しない。
- ④ 行政機関と、産科・精神科等の医療機関との連携による支援体制の構築が重要である。
- ⑤ 初産婦より経産婦の方がうつ病になりやすい。

13. 68歳の女性。大腿骨頸部骨折で入院した。入院4日後の夜間、急に「怖い、助けて」と大声で叫び、起き上がろうとする行動がみられた。翌日朝は落ち着いており、前夜のことを覚えていない。これまで精神症状は認められていない。

この患者で見られた障害はどれか、1つ選べ。

- ① 知能障害
- ② 感覚障害
- ③ 思考障害
- ④ 感情障害
- ⑤ 意識障害

14. 「うつ病」の治療と関係ないものはどれか、1つ選べ。

- ① 電気けいれん療法
- ② 支持的精神療法
- ③ 認知療法
- ④ 曝露療法
- ⑤ 高照度光療法

15. ウェクスラー式知能検査について誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ① ウェクスラー式知能検査は、児童用の WISC、成人用の WAIS の 2 種類が代表的である。
- ② 言語性 IQ、動作性 IQ、全検査 IQ の 3 種の IQ で表示され、下位検査はプロフィールで示すことができる。
- ③ IQ の算出は、精神年齢と生活年齢の比に基づいた知能指数の考えを用いている。
- ④ 動作性知能得点は、高齢になると減退する。
- ⑤ 学校場面で獲得される「単語」「知識」「算数」が低い成績の場合でも、一概に知能が低いとは言えない。

16. ロールシャッハテストについて誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ① 最も使用頻度の高い心理検査のひとつである。
- ② パーソナリティ検査のひとつで投影法に分類される。
- ③ ほぼ左右対称のインクのしみでできた図版 15 枚を提示し、何に見えるか、そこをどう見たかを尋ねる。
- ④ 図版のどこを、どのように、何を見たか、記号化して集計し、解釈する。
- ⑤ 適応や成熟度、情緒の安定といったパーソナリティの構造面を捉えることができる。

17. 「統合失調症」の疫学、発症要因について誤っているものはどれか、1つ選べ。
- ① 統合失調症の発症は典型的には10代後半から30代半ばまでである。
  - ② 性比は1:1である。
  - ③ 有病率は全人口の約1%である。
  - ④ 一卵性双生児では、一方が発病しても、もう一方が発病しない率は5%程度である。
  - ⑤ 統合失調症の発症には脳の発達段階が関与している可能性がある。
18. 精神疾患の診断について正しいものはどれか、1つ選べ。
- ① 精神疾患の診断は、国際的にコンセンサスの得られた唯一の診断基準に基づいて行う。
  - ② 精神疾患の診断基準には、疾患特異的な検査所見が診断基準に組み込まれている。
  - ③ 精神症状が物質の影響や他の医学的疾患により引き起こされている場合、いずれの精神疾患の診断もつけることはできない。
  - ④ 精神疾患を診断するためには、1週間の症状の持続期間が重要である。
  - ⑤ 多くの精神疾患を診断するためには、病前と比べて社会的または職業的機能の低下をきたしている事が重要である。
19. 精神疾患の薬物療法について誤っているものはどれか、2つ選べ。
- ① 第2世代（非定型）抗精神病薬は、第1世代（定型）抗精神病薬よりも糖代謝異常発現頻度が高い。
  - ② 第2世代抗精神病薬は、第1世代抗精神病薬よりも陰性症状改善効果が弱い。
  - ③ 第2世代抗精神病薬は、第1世代抗精神病薬よりも錐体外路症状発現頻度が低い。
  - ④ 新規抗うつ薬（SSRIやSNRI）は、三環系抗うつ薬よりも抗うつ作用が弱い。
  - ⑤ 新規抗うつ薬（SSRIやSNRI）は、三環系抗うつ薬よりも抗コリン作用による副作用発現頻度が高い。

20. 「統合失調症」の病型について誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ① 病型の特定診断は、もっとも最近の診察または治療を開始するに至った臨床像に基づいてなされるので、経過中に変化することもある。
- ② 顕著な緊張病症状が存在する場合には、他の病型の症状が存在していても緊張型とする。
- ③ 解体型では、行動の解体化により、日常生活の活動を行う能力に重度の混乱をきたすことがある。
- ④ 妄想のとらわれや、頻繁な幻覚が顕著な場合は、解体した会話や行動、平板化したまたは不適切な感情が顕著であっても、妄想型とする。
- ⑤ 残遺型の診断は、統合失調症のエピソードが少なくとも1つ存在したが、現在の臨床像には、妄想、幻覚、解体した会話や行動がない場合に用いられるべきである。

21. 「躁病エピソード」で多くみられる症状はどれか、2つ選べ。

- ① 観念奔逸
- ② 情動失禁
- ③ 病的酩酊
- ④ 罪業妄想
- ⑤ 会話心迫

22. 62歳の女性。「天罰を受けたので死ぬこともできない」と訴え、夫に連れられて来院した。3か月前から昼も夜も落ち着かず、体の様々な不調を訴えるようになり、体重は4kg減少した。身体所見には異常を認めない。治療を勧めても、「貧乏だから医療費を払えない」と拒否する。

この疾患でみられない症候はどれか、1つ選べ。

- ① 妄想
- ② 抑うつ
- ③ 食欲低下
- ④ 睡眠障害
- ⑤ 意識障害

23. 「問題 22.」の患者への対応として最も適切なものはどれか、1つ選べ。

- ① 本人の意志を尊重し、そのまま帰宅させる。
- ② 脳の画像検査を直ちに行う必要がある。
- ③ 抗不安薬が第一選択である。
- ④ 自殺の危険に対して配慮する。
- ⑤ 頑張るよう励ます。

24. 35歳の男性。もともときれい好きであったが、半年前から家中の物が汚く感じて触ることに強い抵抗を覚え始めた。たまたま触ってしまうと手を何度も石鹸で洗うが、1時間後には再び気になって手を洗ってしまう。両親が心配して一般病院を受診させるも身体的には問題はなかった。

この症例の呈している疾患に関する記述として誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ① 特定の病前性格としては、回避性パーソナリティが知られていない。
- ② しばしばうつ状態やうつ病が併存する。
- ③ 大脳基底核の病態への関与が示唆される。
- ④ 精神分析療法の有効性を示すエビデンスがある。
- ⑤ 曝露反応妨害法も有効な治療法の一つである。

25. 次の症状のうち、「不安症」よりも「甲状腺機能亢進症」をより強く示唆する症状はどれか、1つ選べ。

- ① 頻脈
- ② 寒さに弱くなる
- ③ 食欲の亢進
- ④ 動悸
- ⑤ 細かい手指振戦

26. 「性的違和（性同一性障害）」について正しいものはどれか、1つ選べ。

- ① 根本的治療はホルモン療法や性転換手術である。
- ② 性的同一性に混乱が認められることが少なくない。
- ③ 染色体異常が認められることが多い。
- ④ 性的同一性を生物学的性と一致させる治療を強く望む。
- ⑤ 服装倒錯的フェティシズムの合併は少なくない。

27. 「神経性やせ症」について正しいものはどれか、1つ選べ。

- ① 過食がみられても一過性で、治療は容易である。
- ② むちゃ喰い／排出型の人で第一度親族で気分障害の危険が高い。
- ③ 治療においては、入院させることを目標に治療を行う。
- ④ 治療の第一選択は選択的セロトニン再取り込み阻害薬（SSRI）による薬物療法である。
- ⑤ 時に一過性の精神病症状が認められることが多い。

28. 次の組み合わせのうち誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ① 歯ブラシを渡して使い方を示すように指示すると、髪をとかす  
----- 肢節運動失行
- ② よく知っている人の顔が識別できない ----- 相貌失認
- ③ 左側にあるご飯に気づかない ----- 半空間無視
- ④ きつねの形など手指パターンの模倣ができない ----- 構成失行
- ⑤ 自発言語は流暢であるが、了解は障害され、錯語や錯文法がある  
----- ウェルニッケ失語

29. 「せん妄」について誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ① 振戦せん妄とは、アルコール依存者の急な断酒に伴ってみられるものをいう。
- ② 夜間せん妄は、室内照明を明るくするなどの処置で改善することがある。
- ③ せん妄時にみられる錯覚としては、パレイドリアが多い。
- ④ 日常の自分の仕事をこなしているような動作を示すことを、作業（職業）せん妄という。
- ⑤ せん妄でみられる幻覚としては、幻聴が多い。

30. 「解離性同一症」について誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ① 患者の病歴の中には、子どもの頃の身体的・性的虐待などの外傷体験がみられることが多い。
- ② 以前、多重人格とよばれていた疾患である。
- ③ 発症が早いほど予後は不良である。
- ④ 診断されるまでに、5～10年経過していることが多く、40代以降に診断されることが多い。
- ⑤ ひとつの人格から別の人格への交代に必要な時間は通常数秒程度である。

31. 「てんかん」について正しいものはどれか、1つ選べ。

- ① 脳波異常があるだけでてんかんと診断できる。
- ② 複雑部分発作では意識は清明である。
- ③ てんかん発作が抑制されれば、早期に抗てんかん薬を中止する。
- ④ Jackson 発作では意識障害を伴わない。
- ⑤ 特発性てんかんと症候性てんかんでは症候性てんかんが多い。

32. 「アルコール使用障害」について誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ① アルコール離脱は、摂取を減らした後 12 時間以内に症状が現れることが多い。
- ② アルコールの過量摂取は、消化管の癌の発生率を高める。
- ③ アルコール中毒とは、アルコール依存、アルコール乱用の総称である。
- ④ 抗酒剤（ジスルフィラム、シアナミド）には、飲酒が嫌いになる直接的な薬理作用がある。
- ⑤ 軽症のアルコール依存症の治療では、減酒・節酒という考え方も重要である。

33. 「ナルコレプシー」について正しいものはどれか、2つ選べ。

- ① 脳波所見として、起床前 REM 睡眠が診断的にも重要である。
- ② リンパ球の HLA の DR-2 の関連が示唆される。
- ③ 治療には中枢神経刺激薬が有効である。
- ④ 情動脱力発作は、日中の眠気よりも先行して出現することが多い。
- ⑤ 入眠時幻覚には抗精神病薬が有効である。

34. 次の文を読み、34～36 の問いに答えよ。

77歳の男性。全身倦怠感と物忘れを主訴に来院した。

現病歴：高血圧症で内服加療中。半年前から食後の全身倦怠感が出現した。またほぼ同時期からときどき物を置いた場所がわからなくなるようになった。その後も症状は持続し、不安、不眠および食欲低下が出現し、3か月で2kgの体重減少があった。立ち上がり時や歩行時にふらつきの自覚はなかったという。

既往歴：30歳時に虫垂炎で虫垂切除術。

生活歴：妻と2人暮らし。65歳で退職。日常生活は自立しているが、症状出現後は外出機会が減少した。喫煙歴はない。飲酒は機械飲酒。几帳面な性格である。2か月前に運転免許証を自主返納した。

家族歴：特記すべきことはない。

現症：意識は清明。身長165cm、体重58kg。体温36.0℃。脈拍76/分、整。血圧126/66mmHg。SpO<sub>2</sub>97% (room air)。眼瞼結膜と眼球結膜とに異常を認めない。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部は平坦、軟で、肝・脾を触知しない。神経診察で下肢筋力低下を認める。

検査所見：尿所見：蛋白(-)、潜血(-)。

血液所見：赤血球413万、Hb13.3g/dL、Ht38%、白血球4,500、血小板22万。

血液生化学所見：総蛋白6.3g/dL、アルブミン3.8g/dL、AST20U/L、ALT18U/L、CK53U/L (基準30～140)、尿素窒素22mg/dL、クレアチニン0.9mg/dL、空腹時血糖94mg/dL、HbA1c5.8% (基準4.6～6.2)、Na140mEq/L、K4.1mEq/L、Cl105mEq/L、TSH1.56μU/mL (基準0.2～4.0)、FT<sub>3</sub>2.3pg/mL (基準2.3～4.3)、FT<sub>4</sub>1.3ng/dL (基準0.8～2.2)、CRP0.04mg/dL。

頭部MRIで軽度の脳萎縮と両側大脳半球白質や視床に軽微な慢性虚血性変化を認める。

脳の主幹動脈に有意狭窄や動脈瘤を認めない。

食後の全身倦怠感を説明し得るのはどれか、1つ選べ。

- ① 仰臥位から起立した際の心拍数20/分以上の上昇
- ② 食後60分の血圧低下
- ③ 吸気時の収縮期血圧10mmHg以上の低下
- ④ 食後60分の血糖値上昇
- ⑤ 6分間歩行でのSpO<sub>2</sub>の低下

35. 「問題 34.」の疾患について、高齢者総合機能評価<CGA>を行うことにした。  
認知機能評価に用いる検査はどれか、1つ選べ。
- ① やる気スコア<Apathy Scale>
  - ② Mini-Mental State Examination<MMSE>
  - ③ Barthel Index (バーセルインデックス)
  - ④ Geriatric Depression Scale
  - ⑤ Vitality Index
36. 「問題 34.」の疾患について、追加検査で抑うつ傾向と四肢筋量と骨量の低下が認められた。  
この患者に対する適切な対応はどれか、2つ選べ。
- ① 運動指導を行う。
  - ② 自宅安静を指示する。
  - ③ 精神科医師にコンサルテーションする。
  - ④ ベンゾジアゼピン系薬剤の投与を開始する。
  - ⑤ 器質的な疾患がないことを説明し、かかりつけ医に逆紹介する。
37. 「季節性うつ病（うつ病、季節型）」について正しいものはどれか、2つ選べ。
- ① 意欲が亢進する。
  - ② 不眠になる。
  - ③ 食欲が亢進する。
  - ④ 高照度光療法が有効である。
  - ⑤ ハロペリドールが有効である。
38. 「神経性大食症」について誤っているものはどれか、1つ選べ。
- ① むちゃ食いのエピソードの繰り返しがみられる。
  - ② 体重増加を防ぐために不適切な代償行為を繰り返している。
  - ③ むちゃ食いと不適切な代償行為が、平均して3カ月以上にわたって少なくとも週1回は起こっている。
  - ④ 自己評価は、体型および体重の影響を過剰に受けている。
  - ⑤ 過食をなくすことが最終的な治療目標である。

39. 次の不安惹起状況（刺激）と「不安症（恐怖症）」の組み合わせのうち、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ① 満員の映画館 ----- パニック症
- ② 縁起の悪い方角 ----- 強迫症
- ③ 少人数のパーティ ----- 限局性恐怖症
- ④ 大きな音 ----- PTSD
- ⑤ 状況との関連は少ない ----- 全般不安症

40. A君は小学校1年生の男子。初歩は1歳と早く、歩き始めると呼んでも親を振り返らずにどこへでも行ってしまおうので目が離せなかった。1歳半で単語の表出があったが、その後、発語が消えたため、3歳児検診でことばの遅れを指摘されて子ども相談センターを紹介され、療育指導を受けた。母親が遊びに誘っても見向きもせず、一人でミニカーを一列に並べたり、車輪を手で回し続けたりするのを好んだ。要求行動にクレーン現象が見られた。障害児保育園を経て次第にことばは獲得されてきたが、おうむ返しが多く、なかなか会話が成立しなかった。小学校の特別支援学級に入学したが、急な予定の変更やこだわりの制止にかんしゃくを起こし、頭を壁に打ち付ける自傷行為が出現したため、両親に連れられて児童外来を受診した。

次のうち、A君のもつ障害に当てはまるものはどれか、2つ選べ。

- ① 本障害は、男児よりも女児の方が4～5倍、多く見られる。
- ② 本障害を始めて報告したのは、レオ・カナーである。
- ③ 本障害を持つ子どもは、乳幼児に愛着行動が見られないのが特徴的である。
- ④ 本障害を持つ子どもでは、“心の理論”の獲得は平均的である。
- ⑤ 本障害を持つ子どもは、象徴的な遊びを行うのが得意である。

(解答)

問題	解答	問題	解答	問題	解答
1	3	16	3	31	4
2	2	17	4	32	3,
3	2	18	5	33	42,3
4	1	19	2,5	34	2
5	5	20	4	35	2
6	4	21	1,5	36	1,3
7	3	22	5	37	3,4
8	2	23	4	38	5
9	1	24	4	39	3
10	1,2,5	25	3	40	2,3
11	3	26	2		
12	2,4	27	2		
13	5	28	1		
14	4	29	5		
15	3	30	4		

(個人的感想)

例年は国家試験の問題が多かったですが、今年の問題はほぼ出ませんでした。授業の際にもミニテストがあり、その点数と合算で成績を決めているようです。先生曰く、試験に通らせるためにいろんな策を講じてある、とのことでした。

追試者 6人 (追試験ではなく、レポート課題)